

第1部 JPCOAR作業部会活動報告 コンテンツ流通促進作業部会

片岡朋子

コンテンツ流通促進作業部会/お茶の水女子大学

コンテンツ流通促進作業部会の概要

JPCOAR重点活動項目(2022-2026年)[ミッション]

2. 会員機関が公開するコンテンツの多様化と利活用 <コンテンツ>

協会は、会員機関のリポジトリが擁する学術論文や研究データをはじめとする多様なコンテンツについて、総体として、また、種類ごとに、収集・管理・保存のノウハウを共有する。また、各種識別子を含むメタデータの標準化や FAIR 原則への対応、流通促進を通じて、会員機関構成員の学術成果の普及・利活用を促進することにより、新たな成果につながるようなエコシステムの形成につとめる。

オープンアクセスリポジトリ推進協会の概要(<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/38>)

2022年度活動計画

1. JPCOARスキーマ(改訂・メンテナンス)

メタデータチーム

研究データおよびデジタルアーカイブに対応したメタデータの標準化のため、JPCOARスキーマの更新を行う。

2. DOI・ライセンス促進

DOIチーム

識別子・ライセンスの調査結果に基づき、学術成果の普及・利活用を促進する。

3. SCPJ

SCPJチーム

著作権ポリシーのデータメンテナンスを継続し、論文等の収集・管理や流通促進のノウハウを共有する。

コンテンツ流通促進作業部会

高橋 菜奈子	東京学芸大学総務部学術情報課長【主査・運営委員会委員】
三上 絢子	北海道大学附属図書館管理課図書受入・目録担当【(兼)研究データ作業部会】
中竹 聖也	東京大学情報システム部情報基盤課学術情報チーム主任
瀬川 結美	東京学芸大学総務部学術情報課アーカイブ室アーカイブ係長
片岡 朋子	お茶の水女子大学図書・情報課主任(利用支援担当)
野村 周平	横浜国立大学研究・学術情報部図書館情報課図書管理係員
岩井 雅史	信州大学附属図書館情報システムグループ主査【(兼)研究データ作業部会】
三木 保孝	大阪大学附属図書館学術情報整備課専門職員(電子コンテンツ主担当)
佐藤 知生	神戸大学附属図書館情報サービス課自然科学系情報サービス係員
室井 万穂	九州大学附属図書館eリソース課リポジトリ係係員
神谷 優子	慶應義塾大学メディアセンター本部リソースマネジメント担当
大串 季帆	同志社大学学術情報課学術情報係
片岡 真	人間文化研究機構国文学研究資料館管理部学術情報課長
堀野 和子	国文学研究資料館古典資料目録係長
林 正治	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教【運営委員会委員(兼)システム開発・連携作業部会・次期JAIRO Cloud移行タスクフォース(JAIROC loud作業部会)】
長岡 千香子	国立情報学研究所オープンサイエンス基盤研究センター特任助教
林 豊	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係長(研究データ基盤整備チーム)【(兼)広報・普及作業部会・次期JAIRO Cloud移行タスクフォース(JAIRO Cloud作業部会)】
大澤 紗都	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係員(研究データ基盤整備チーム)【(兼)次期JAIRO Cloud移行タスクフォース(JAIRO Cloud作業部会)】
末田 真樹子	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係員(研究データ基盤整備チーム)【(兼)次期JAIRO Cloud移行タスクフォース(JAIRO Cloud作業部会)】
松野 涉	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課係員(研究データ基盤整備チーム)【(兼)研究データ作業部会】
増山 廣美	国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課研究データ基盤整備チーム学術支援技術専門員

メタデータチーム

研究データおよびデジタルアーカイブに対応したメタデータの標準化のため、JPCOARスキーマの更新を行う

研究データ

- ① 「メタデータの共通項目」への対応に伴う助成情報等の拡充
- ② COAR Resource Types 3.0への対応に伴う「資源タイプ」の「dataset」語彙の詳細化

デジタルアーカイブ

- ① メタデータ流通経路の検討 (https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_attached/#3)
- ② デジタルアーカイブに対応する要素の拡充

メタデータチーム2022年度活動内容

- IRDBとJaLCの連携方式の変更に伴う「DOI管理・メタデータ入力ガイドライン」改訂・公開(7月22日)
- JPCOARスキーマVersion 2.0ドラフト版の公開(10月31日)
- **JPCOARスキーマVersion 2.0ドラフト版に関する意見募集**
(10月31日～**11月25日**)
- 意見交換会メタデータ☆トワイライト2の実施(11月10日)
- 2022年度中にVersion 2.0正式版公開予定

The screenshot shows the JPCOAR Schema Guidelines website. The 'バージョン' (Version) dropdown menu is highlighted with a red box, showing '2.0 Draft' as the selected option. The page title is 'JPCOARスキーマガイドライン' (JPCOAR Schema Guidelines). The navigation bar includes links for 'スキーマ説明' (Schema Description), '改訂履歴' (Revision History), 'FAQ', 'お知らせ' (Notice), '問い合わせ' (Contact), and '関連リソース' (Related Resources). The main content area is titled 'JPCOARスキーマ項目の説明' (JPCOAR Schema Item Description). It lists various schema items on the left, such as 'タイトル' (Title), '作成者' (Creator), 'アクセス権' (Access Rights), and '権利情報' (Rights Information). On the right, it provides detailed explanations for these items, including '要素名' (Element Name) and '属性' (Attribute). The '属性' section shows a dropdown menu for 'xml:lang' with options for 'ja' and 'en'.

DOIチーム

DOI・ライセンスに関するヒアリング調査に関する報告書を公開

調査の目的

ヒアリングを通して、DOI・ライセンス付与の促進に有効な、あるいは障害となっている要素を明らかにし、今後の普及活動に活かす

調査期間

2021年12月20日～2022年1月13日

調査対象

JPCOAR会員機関のうち国立大学・私立大学あわせて10機関

調査項目

- ・ DOIの付与に関する共通の項目
- ・ DOIの付与に積極的な機関／未着手の機関向けの項目
- ・ ライセンスの付与に関する共通の項目
- ・ ライセンスの付与に積極的な機関／未着手の機関向けの項目

報告書の事例をみなさまの機関のDOIとライセンスの付与にご活用ください！
今後は研究者(紀要等の編集担当)へのヒアリングを計画中。

2022年8月1日

DOI・ライセンスに関するヒアリング調査について

JPCOARコンテンツ流通促進作業部会
DOIチーム

JPCOARコンテンツ流通促進作業部会では、2021年度の取り組みとして、DOI・ライセンスに関するヒアリング調査を行いました。本稿はその調査結果を報告するものです。

1. 調査の背景

当作業部会では2020年度に、国内の機関リポジトリに登録されているメタデータを対象とした識別子・ライセンスの付与状況を調査しました。その結果、2020年7月2日時点でIRDBに登録されている全レコードのうち、DOIが付与されているメタデータは13.5%、ライセンスの記載があるメタデータは18.9%にとどまっていることが明らかとなりました¹。

DOIは論文など電子的な学術コンテンツに付与される識別子で、コンテンツを一意に特定でき、それへの永続的なアクセスを可能とするものです。一方、ライセンスはコンテンツの利用条件を示すもので、コンテンツのアクセシビリティの向上と再利用が促されることによって研究の発展に寄与します。

このような学術情報流通における識別子・ライセンス付与の重要性を鑑みて、それらの量的把握を進めていますが、付与を積極的に行っている機関の実践紹介や付与を行う上での懸念事項等の情報共有については、今後取り組むべき課題となっていました。

2. 調査の目的

ヒアリングを通して、DOI・ライセンス付与の促進に有効な、あるいは障害となっている要素を明らかにし、今後の普及活動に活かすことを目的としています。

3. 調査方法

- ・ 調査期間：2021年12月20日～2022年1月13日
- ・ 調査対象：JPCOAR会員機関の中から国立大学・私立大学あわせて10機関を選定
- ・ 調査方法：調査対象機関に対して事前に質問事項一覧を送付し、オンライン会議システムを使用して各機関リポジトリ業務担当者に対する1時間程度のヒアリングを実施

4. 調査項目

1. DOIの付与に関する共通の項目
2. DOIの付与に積極的な機関向けの項目
3. DOIの付与に未着手の機関向けの項目
4. ライセンスの付与に関する共通の項目

¹ 西岡千文. 機関リポジトリにおける識別子・ライセンスの付与状況. 2021. <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/680>. (参照2022-07-19).

SCPJチーム

SCPJデータベース(学協会著作権ポリシーデータベース)の概要

- 学協会のオープンアクセスに関する方針(OA方針)を取りまとめたデータベース
- Googleスプレッドシートで公開
<http://id.nii.ac.jp/1458/00000186/>
- 登録情報は学協会からの申し出に基づき更新
- 学協会数2,590／タイトル数3,296(2022年11月14日時点)

SCPJチーム2022年度活動内容

- SCPJウェブサイトの英語版ページの作成(10月公開)
- SCPJデータへのCCライセンス付与の検討
- データメンテナンス
- 問い合わせ対応
- 学協会向けの広報の検討



学協会著作権ポリシーデータベース
Society Copyright Policies in Japan

SCPJ

Check academic societies' copyright policies

The SCPJ Project provides information on the copyright policies of journals published by academic societies in Japan. The Google Spreadsheet is accessible via the link below:

<http://id.nii.ac.jp/1458/00000186/>

Color codes for the list of societies' copyright policies

- Green...can archive pre-print and post-print
- Blue...can archive post-print
- Yellow...can archive pre-print
- Gray...Under consideration/ Private/ No response / Other
- White...archiving not formally supported

See also

- [Article Copyright](#)

About SCPJ

About the SCPJ Project

The Society Copyright Policy in Japan (SCPJ) Project deals with copyright management in relation to open access and self-archiving. The National Institute of Informatics initiated it as a Cyber Science Infrastructure project (Area 3, FY2010-2012). The SCPJ Project was originally managed by the University of Tsukuba and other institutions (*1). JPCOAR took over the management of the project in March 2020.

(*1)
University of Tsukuba (Lead Institution)
Chiba University/ Tokyo Institute of Technology/ Kobe University (Collaborating Institutions)

2022年度活動成果物(予定を含む)

- a. SCPJウェブサイトの英語版ページ
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/133>
- b. DOI・ライセンスに関するヒアリング調査について(報告書)
<https://doi.org/10.34477/0002000208>
- c. JPCOAR Newsletter: CoCOAR 15号
<https://doi.org/10.34477/0002000218>
- d. IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン: JPCOARスキーマ ver1.0.x編(バージョン 1.3)
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/160>
- e. IRDBデータ提供機関のためのDOI管理・メタデータ入力ガイドライン: junii2編(バージョン2.4)
<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/records/215>
- f. Japan Open Science Summit 2022セッションD3「オープンサイエンス時代の知の共有を支えるーメタデータ流通ガイドライン」
「メタデータ流通ガイドライン(ドラフト版)」について 片岡朋子
https://iss.ndl.go.jp/information/guideline_material/
- g. 大学図書館研究会「大学の図書館」第41巻8号「JPCOARが、これから委員会、NII、NDLと連携して行ったこと」 瀬川結美
<https://daitoken.com/publication/index.html>
- h. COAR Multilingual and non-English content in repositories Recommendation
COAR Task Force on Supporting Multilingualism and non-English Content in Repositories 三上絢子
<https://www.coar-repositories.org/news-updates/what-we-do/multilingual-and-non-english-content/>
- i. JPCOARスキーマVersion2.0(2022年度正式版公開予定)
- j. JaLC DOIガイドライン(2023年3月頃予定)
- k. メタデータ流通ガイドライン(古典籍編)(2023年3月頃予定)
- l. メタデータ流通ガイドライン(研究データ編)(2023年3月頃予定)